

アートキャンプ2023 テーマ



美戸端会議では、井戸の周りではなく、アートの周りに人々が集い、 その日、その時、その場所の感情を共有し合うそんな場所。

当日四来場者内訳

開会式

	学内関係者	OC参加者	外部参加者	全体参加者
9月30日 (1日目)	139	8	147	294
10月1日 (2日目)	52	30	249	331
合計	191	38	396	625







01	インスタレーション		03	ステージ	
	集いの場所	03		 ブレーメンの音楽隊(軽音サークル)	
	ステイトメントハウス	04		JAZZ live 2023(JAZZ サークル)	
	ミニ美術館	05		美戸端放送局(吹奏楽サークル)	20
	映像企画	06			
	ガラス細工	07	04	"/ 7' -	
	UN POCO LOCO 写真館	08		ガイドツアーマイムマイム隊	21
	reflection wear	09			
	風と遊ぶ展 in artcamp	10	05	探検	
	インテリア授業作品展示	11		KASEI ミステリークエスト	22
	十条駅前 仮囲いアートプロジェクト	12		スケッチくんの落とし物	23
02	ワークショップ		06	休憩所	
	なんかいる	13		いろどり茶屋	24
	おえかきマーチ	14			
	ダンボールアートプロジェクト	15	07	本部	
	clear!OG 企画	16		構成部	25
	Dialog au narrative creation			マネジメント部・会計部	26
	+ food arts OhBentu(児童学科)			広報部	27
	きょうの空をかく(森のサロン)	18			
	be draw project	19	閉会		28

02













二美術館

メンバー

箱が重くて地面に置くばかりで当初イメー

ジしていた木や壁にくくりつけるというこ

あることで少し不思議な雰囲気が出ていた

ことが良かったです。しかし思ったよりも

品を扱うことの難しさを感じました。 少し破損してしまった事故もあり、人の作 を払いながら展示を行いましたが、作品が した。壊れないよう、汚さないように注意 しかったことは、「人の作品」を扱うことで

会をこの企画で作れたことが良かったです。 魅力的で外部の方や学科生に見てもらう機 今回ミニ美術館で展示した作品はどれも のでした。 す。このプロジェクトは設置メンバーが学 科の学生から作品を募集して展示をするも 品を作るのかを伝えることがコンセプトで 業を受けられるのか、生徒はどのような作 イベントです。造形表現学科ではどんな授 授業外で制作した作品を展示する展示

ミニ美術館は造形表現学科の学生が授業

ました。屋外展示の白いボックスも学内に 7 号館を通った人達が思ったよりもじっく りと見てくれていて展示のやりがいを感じ 7 号館ナナイチギャラリーの室内展示は



た、天候に左右されやすく作品を濡らさな とができなかったのは少し残念でした。ま

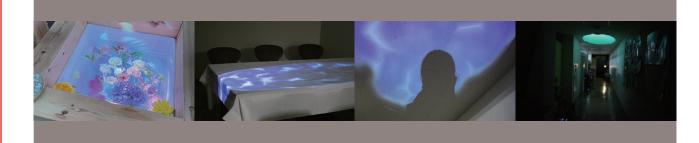
いように室内にしまったり、また屋外に出

したりすることが忙しかったです。特に難









映像企画

メンバー 的場理沙子(リーダー)/ 濵野公寧

りには行きませんでした。しかし、

チームで協力し、最適な場所を探し

続ける中で、より良い場所を見つけ

ですが明るさと台数の問題で想定通6ヶ所に10台弱置く予定があったの所が限られ、最初に想定した場所が影するので、昼間に映る明るさの場

設置することが決まってからは場所

最初、他のプロジェクトの周辺に

しかったです。プロジェクターで投をどこにするかを決めるのが1番難

そして当日、初めて水と花が入った井戸へ投影したのですが、予想以上に綺麗で安心しました。井戸に映る映像が訪れた人々の驚きと感動をる映像が訪れた人々の驚きと感動を引き出し、プロジェクトの成功に繋がったと思います。 最後に、見た人々が私たちのプロがったと思います。 れた瞬間でした。その瞬間の喜びとくれたことは、私たちの心に深く刻まれています。本当にアートプロジェク

トに参加して良かったです。



想的な空間を作り出せたことが良の地下に台数を多く持ってきて、幻出す事ができました。特に、7号館

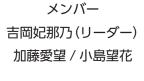
かったです。

る条田

との大変さに驚きました。自分の中でやりたい事が決まっていても、なかなか実現しないことのもどかしさだったり、前もっ からトンボ玉のワークショップを行い、ガラスや工芸の楽しさを体験できるプロジェクトで 今回このプロジェクトを企画するにあたって、プロジェクトを企画すること、運営するこ

ポートのおかげで成功におさめる事ができました。ありがとうございました。 こまでやり切れるかとても不安でしたが、金工室の教授の先生と助手さんをはじめ、たくさんの方のサ 立たないところにあるし、そもそも興味を持ってくれる人がいるのか、当日までずっと不安でしたが、 表現学科の方にも知っていただきたいという想いのもと企画しました。正直、金工室の場所もあまり目 2日目からワークショップを急遽やる事になった時も、なにも準備をしてない状況で、時間もない中ど 在校生を含め自分が予想していたよりもたくさんの方に来て頂くことができ、とても嬉しかったです。 このプロジェクトを通して、伝統工芸やガラス細工のよさを来場者はもちろんのこと、在校生の造形

ても大変でしたが、その分学ぶことも多くやってよかったなと思っています。







メンバー

高瀬愛奈(リーダー)/ 根本朋果/ 瀧川亜矢佳/東優衣/村上大空/ 瀬川あさひ/高野凛香/角田実優





募や黒板への書き込みなど参加型にもしました! 大生のありのままを映してインスタレーションとして表現し、外部からの応(UN POCO LOCO(ちょっとおかしな)写真を展示しました。女子

身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ身内ネタになりすぎないようにするのが難しいところでした。できるだけ

中うんぽこに徹してしてくれたメンバーに本当に感謝です。ありがとう!量の多いプロジェクトになりました。特にアートキャンプ前2週間、忙しい大量の写真印刷、そしてそれを貼っていくなどなど。非常に地道かつ作業



コラボ企画は滅多にない機会なので、新鮮な気持ちで取り組むことが出 アートウェアに私たちが用意した映像を投影しました。他学科の方との 服飾美術学科の授業で制作した洋服と造形表現学科の授業で制作した 私たちは服飾美術学科と造形表現学科のコラボ企画を行いました。

アートキャンプ当日では、鑑賞してくださった方が好きな服を見つ

けたり、流れていく映像を写真に撮ることでお気に入りの瞬間を切り取ったりと、各々の楽しみ方を見つけ てくださっていてこちらも嬉しくなりました。

える作品を作り上げることが出来ました。上手くいかないことも多々ありましたが、それも含めて良い経験 なかったことに挑戦する楽しさにも気がつくことが出来ました。 全員で積極的に意見を出し合い、協力しあえたことで、結果的に大勢の方に「良い空間だった」と言って貰 になったと感じます。この企画を通して、情報共有や計画の重要さを痛感したと共に、今までに経験してこ が全ての服に投影されるように配置することはとても難しく、様々なパターンを試行しました。

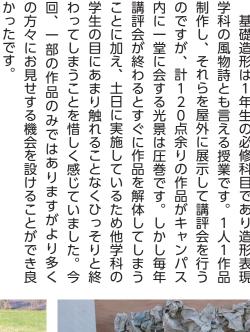
科、造形表現学科の方々、本当にありがとうございました。 今回この企画に協力してくださったメンバーや先生方、服の提供を快く引き受けてくださった服飾美術学







本学科1年生が「基礎造形」という授業で屋本学科1年生が「基礎造形」という授業、今年度はタイトル通り「風と遊ぶ」が共通テーマと度はタイトル通り「風と遊ぶ」が共通テーマと度はタイトル通り「風と遊ぶ」が共通テーマとを展示しました。毎年恒例のこの授業、今年のですが、計120点余りの作品がもかします。









「インテリアプロダクト」

モノによって空間をデザインする課題としました。インしました。あえて抽象的な概念を基にカタチを模索し、創作された課題「もてなしの装置」屋外に設置し訪れた人を招き入れる場をデザ

を願っています。

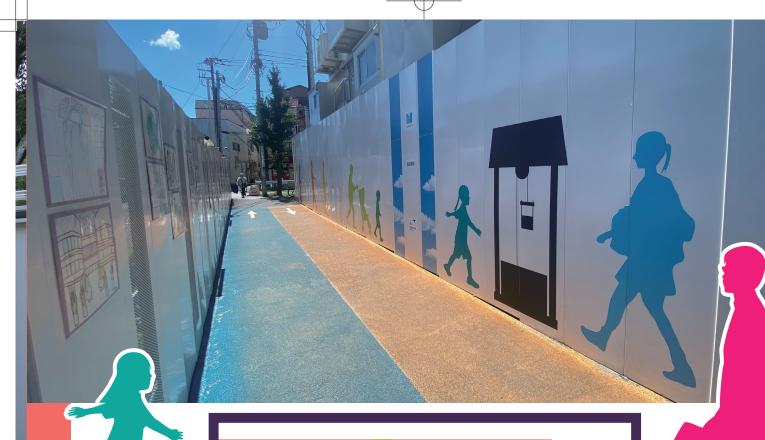
ことがあります。力を合わせて生み出した。自分の考えを他の人にを重ね創意工夫を凝らし 制作し完成させました。自分の考えを他の人にを重ね創意工夫を凝らし 制作し完成させました。自分の考えを他の人になる。逆に他の人の考 えに共感し理解して受け入れる。全く違うと思っることがあります。力を合わせて生み出したそのカタチはかけがえのないものであり、代え 難い感動を得ることが出来ます。茶道では、茶室をいものであり、代え 難い感動を得ることが出来ます。茶道では、茶室をいものであり、代え 難い感動を得ることが出来ます。茶道では、茶室を間で、訪れた人々が少しでも楽しく有意義な 時間を過ごして頂けたことで願っています。

「インテリアデザインA」

て実際に空間を(原寸)作ったものです。ンする科目です。今回の展示作品は、その延長線上にある取り組みとし空間を構成する構造、素材を在来工法(木造)で学びながら空間デザイクが感じる居心地の良さを屋外環境とのつながりを軸に考え、さらに、

で空間の持つ可能性を感じて貰えれば幸いです。

「中国の特別であり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験があり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験があり、ベンチであり、できたと思います。アートキャンプで見り体感覚(五感)を通して物の存在感、空間の居心地とデザインの意図を結びつけ理解を広げることができたと思います。アートキャンプで見り体感覚(五感)を通して物の存在感、空間の居心地とデザインの意図を結びつけ理解を広げることができたと思います。アートキャンプで見り体感覚(五感)を通して物の存在感、空間の居心地とデザインの意図を結びつけ理解を広げることができたと思います。アートキャンプで見り体感覚(五感)を通り、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験であり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験であり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験であり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験であり、ベンチであり、フォトスポットでもあり色々な受止め方と経験であり、ベンチであり、大きないです。



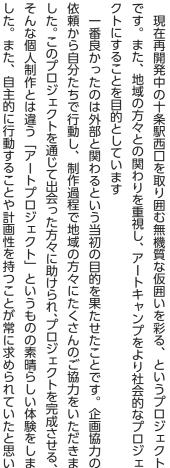
仮囲いアートプロジェク

Karigakoi Art Project

メンバー

谷野伶佳 (リーダー) / 矢野詩子 / 舟山結 / 佐藤有希乃 / 増渕小春 / 石塚佑子 / 北村小春 / 高橋凜

いなどままならない苦労はしましたが、それもまた私たちの学びになったと感じてい ます。自分たちで全てが決定できないことや、しっかりと連携をとらなければならな クトにすることを目的としています



が社会に開いていく一助になればと思います。

続いていくにあたり、#美戸端会議というテーマで行われた今年のこのプロジェクト

いかなければならないというお言葉をいただきました。アートキャンプがこれからも

ます。地域の方に、造形表現学科を、そしてアートキャンプを、もっと社会に開いて





おれの頭で 上手く育つと いいんだが

> かいを設置しアートキャンプの開催を知らせまし ショップを実施し、プロジェクトメンバーで楽焼 た。アートキャンプ当日は陶芸の絵付けワーク 後期からインスタレーションとして学内によう

の方の参加も可能ということで全く来場者数が読め なくらいで足りるかどうか。今年は久しぶりに一般 んだことはたくさんあります。とにかく準備はしすぎ は片付かず。怒涛すぎてほとんど記憶がないです。学 きゃいけないしアートキャンプが終わってからもタスク た。ひたすら考えることがあるし制作を進めな プロジェクトを運営するって超大変で笑いまし



ど日数を逆算して考える必要があり、ま~大変でした。 必要なのか、とにかく何をすれば良いのか。どうしよ ず、一体どのくらい準備したら良いのか、どれが幾つ みんなでよく頑張りました。大きな拍手。 トだったため乾燥させる、素焼き、絵付け、本焼きな うが山積みでした。陶芸作品が中心となるプロジェク

がとう、よくやりきれたよ~嬉しいです:) 本部のみ 成功したなんかいるでした。本当に感謝です。ピース。 参加してくれた来場者の方々もとってもありがとうござ んなも気にかけてくれて参加してくれてありがとうこ いました:)マ、とにかくみんなのお力添えをいただき した:) プロジェクトメンバーのみんなも大変にあり た、感謝しきれないです、本当にありがとうございま 陶芸研究室の方々には大変なご協力をいただきまし

> 平野菜月 根本朋果 保坂葉月 田所凜(リーダー) 上松千紘 メンバー 関根未紘 吉岡妃那乃 石井友華 石井友華 芳賀美南 髙瀬愛奈 須田さくら 谷野伶佳 廣原有希子

淺川美冬





おえかきマーチ♪は自分達で打楽器や 衣装などに絵を描いてもらって「幸せな ら手をたたこう」や「さんぽ」などを入 れたメドレーを一緒に演奏してもらう楽 しいプロジェクトになっています。







りがとうございました。



りなプロジェクトにできたのはこのよう 命に完成させてくれました。今回思い通 がその必要が全くいらないくらい一所懸 だったり楽器に付けるものだったりで大 るようなものでしたがかなり時間がか が多いのが厄介で一つひとつはすぐでき も楽しいプロジェクトになりました。あ バーの力あってこそだと思います。とて にきっちりと仕事をこなしてくれるメン るきながらの演奏ができるか不安でした ティックギターはあんまり演奏しないな エレキギターは演奏するけどアコース らいでしかやったことがない人がいたり きました。また楽器の演奏がメインだっ かり超えて頑張ってるれるメンバーのお きさを適当なものにするのが難しかった かってしまいました。また手に持つもの 布での制作が大変でした。まず作る個数 山あり分担が大変でした。中でも楽器や れの作業でやらなきゃいけないことも沢 という人がいたりで当日までに暗譜であ たメンバーの中には今まで音楽の授業く かげで夏休み中に準備を終えることがで です。しかし活動日ごとのノルマをしっ くれました。夏休みはメンバーがそれぞ メンバー

髙橋つぐみ(リーダー)/並木桜子/木戸菜穂/川上理渚/高塚梨心/北出紋菜/ 木村和鈴 / 日下部由依 / 佐藤綾花 / 梶原千怜 / 森岡里奈 / 酒巻樹音 / 中尾理汐/曽明ひかり/木村結/音幡優綾/加藤えみり/小尾琴音/佐藤結

になってよかったです。メンバーもみん

全体的に考えたとおりのプロジェクト





メンバー

舟山結 (リーダー) / 矢野詩子 / 谷野伶佳 佐藤有希乃/増渕小春/石塚佑子 北村小春 / 高橋凜







チーフになっている白い鳩をダンボールで制作しました。 外部の方との連携企画として、造形作家として活躍されている玉田多紀さんと一緒に東京家政の校章のモ

を想像しながら、実際にそれが可能かどうかをみんなで試行錯誤しました。ダンボールの軸を作るのにとて れでも学生8人と玉田さんとでほぼ休みなしで全力で制作に取り掛かり、4~5時間かかりました。完成形 田さんが普段制作されている超特大サイズの作品に比べれば、今回制作した白鳩は小さなサイズですが、そ ら次第に完成していく様子を見て、学生や周囲の方が「すごい!」と驚いてくれるのが嬉しかったです。玉 始め、つい昨日まで存在しなかった大きな白鳩の立体作品が15時ごろには大部分が出来上がりました。0か では経験できない達成感を得ることができました。当日、朝から玉田さんと4名の学生が中心となり制作を いクオリティの高いプロジェクトに仕上げることができました。最終的に完成した時は、他のプロジェクト 行できた点にあります。学生による提案をプロの作家さんに直接指導していただき、学生だけでは得られな このプロジェクトの一番良かったところは、第一線で活躍されている作家さんと一緒にプロジェクトを実

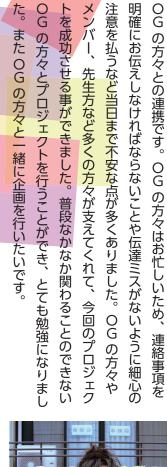
つもない力作業が必要であったことなどから、作家1人で活動している玉田さんの大変さをヒシヒシと感じ、















このプロジェクトを運営して良かったことはコロナ禍で人々を隔て

「人と人とを隔てるためのものを、

コロナで行き場を失ったアクリル板を活用し

人と人とを繋げるものに変えたい



Dialog au narrative creation food arts OhBentu

メンバー 加藤愛佳 / 佐藤夏響 / 小口紗希 / 高久智永里





に私たちのワークショップを楽しんでいただけてよかったです。人によっ 色が付き完成していく様子を見て、参加できて参加してよかったと思いま た。たくさんの方のおかげで1つの素敵な作品が出来上がったことを嬉し て感じ方は異なり、表現の仕方にも多様性があることを改めて実感しまし く思います。 人に参加していただくことができました。1日目、2日目と徐々に和紙に アートキャンプでは大学生、幼稚園児、外国の方、大人の方など様々な アートキャンプの活動を通して、お子さんから大人の方まで多くの人方

の中で絵本を読むことは中々経験できないことだなと感じることができ、 に囲まれていると、その間はとても癒されていました。1つの大きな作品 色が付けられていく課程を見るのが面白くて、静かな時間に神秘的な空間 してくれて読み聞かせている側もとても楽しかったです。和紙にどんどん した。小さい子どもがたくさん来てくれて、物語をききながら楽しそうに



















境に優しいリターナブルびんを広めます。環として、ガラスびんの良さを伝え、環環として、ガラスびんのかけらを使ったワークショップを通して、ガラスびんの良さを伝え、環日本ガラスびん協会と東京家政大学(環境教育学科・造形表現学科との合同プロジェクトの一

変でした。

「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルびんの宣伝活動として、国内の「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルびんの宣伝活動として、国内の「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルがのの宣伝活動として、国内の「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルがのの宣伝活動として、国内の「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルがあの宣伝活動として、国内の「be draw project」では昨年から環境に優しいリターナブルびんの宣伝活動として、国内の「be draw project」では呼ばいる。



メンバー 中尾芽生(リーダー)/ 坂巻真有 長滝瑞姫/廣澤萌/山本優奈



責任重大でした。一緒に会場内を巡りながら全プロジェクトの魅力を発信するということでとてもアルタイムで感情を共有し合うことを大切にしました。ガイドツアーは来場者とアートキャンプの魅力を発信し、対話を通じて来場者との親睦を深めながらリ

チーム一同やりがいを持ってやり切ることができました。「どんなガイドツアーにしたいのか」について一人ひとりが目的意識を持ち、主体的にガイドツアーアーにしたいのか」について一人ひとりが目的意識を持ち、主体的にガイドツアーアーにしたいのか」について一人ひとりが目的意識を持ち、主体的にガイドツアーアーにしたいのか」について一人ひとりが目的意識を持ち、主体的にガイドツアーアーにしたいのか」について一人ひとりが目的意識を持ち、主体的にガイドツアーアーにしたができたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。のあり方を模索できたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。のあり方を模索できたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。のあり方を模索できたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。のあり方を模索できたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。のあり方を模索できたのはとても良かったと感じます。そしていざ迎えた本番。かながら作品を味り方をでき、コンセプトとして掲げていた「来場者ととても近い距離で関わることができました。作品を味りに対する感情を共有した。作品を味りに対する感情を共有した。作品を味りに対する感情を共有している。

活かしてヒントを Web サイトに追加したり構成部の

メンバー 間嶋桃子(リーダー)/茂呂彩音/渡辺朋香 安田真海 / 池浦美有希



分たちで呼び込みをするなど起点を 利かすことが出来ました。 かったです。参加してくださった ことがなかったので、色々調べると にワークシートを置いてもらう、自 方にもお願いして正門近くのテント 方々も本当に有難うございました。 たが無事に2日間を終了できてよ ころから始まり手探りでの運営でし 私自身謎解きイベントに参加した





私達学生にとっては当たり前の様に目にしていた光景 動の時や昼休みにどこかへ移動してお昼を食べるなど、

突飛した物を見つけることが逆に難しかった

ずなのに、特徴を見つけろと言われると大学内で授業移 を合計5つ考える必要がありました。いつも通る道のは その場所に纏わるお題を考えなければいけないので、謎 を考えること」です。チェックポイントを設置した上で

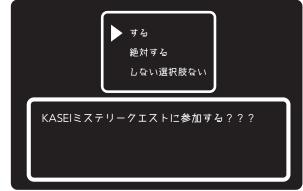
が少なかったり謎を気軽に解いて貰うために、反省点を です。また良かったことは、当日でも場所が悪く人通り 出して頂き景品をお渡しするという流れで行いました。

まず一番難解だったものは「チェックポイント毎に謎

ベントです。大学を回りながら謎を解き、全てを解くと 一つの絵が完成する仕組みになっており、最後は絵を提

「アートと謎解きの融合」をコンセプトにした謎解きイ







メンバ・ 村松盟 / 矢口実季子





のグッズがもらえるという企画です。 落とし物と一緒にあるスタンプを全て集めると、ステッカーや缶バッジなどのスケッチくん アートキャンプの公式キャラクター、ナマケモノのスケッチくんの4つの落とし物を探し、

らえることの素晴らしさを学びました。 企画を運営してみて、自分たちで一から作ったものを人から喜んでもらうこと、使っても

う少人数で、本当に実現できるのかなという不安が大きかったです。そんな中、本番まで全 かったです。大変だったことは、企画の運営です。リーダーである私は今までアートキャン てもらえたことです。本当にこの企画をやって良かったと心から思える瞬間で、とても嬉し プに関わった経験が無く、企画を運営するのは初めての試みで、しかもメンバーは3人とい 人の方までたくさんの方に喜んでいただき、グッズをカバンやスマートフォンカバーにつけ 良かったことは、当日は多くの方にプロジェクトに参加してもらい、小さなお子様から大

22



今回様々な分野のデザインが得意なメンバーが集まったので、みんなで楽しく制作出来たらいいな まずは、みんなでデザインしたものを完成させることが出来て良かったです。 また、休憩場所の提供だけでなく、制作の際にできた端材を彩る企画を行いました。 と思い運営を行いました。 「会話を楽しむ憩いの場づくり」をテーマに「いろどり茶屋」という和モダンの空間を作りました。

のがとても多かったです。 で終わってしまうため、デザインしたものを原寸で制作する経験ができ、空間作りにおいて得るも そして、先生に設計について教えていただき学びながら制作をしました。普段の授業では模型作り 始めたので、完成まで時間がかかりました。しかし、制作の範囲が広かった分、完成した時の達成 する様子が見られ、目的としていた「憩いの場づくり」を達成することが出来て良かったです。 どの感想をいただけて嬉しかったです。また色んな人が自然と集まり、くつろいだり会話をしたり 感もとても大きかったです。アートキャンプ当日はたくさんの方に来ていただき、「すごいね」な

ます。みんなとプロジェクトが出来て本当に楽しかったです!ありがとうございました! 最後に、色々なハプニングがあった中ついてきてくれたメンバーのみんなにとても感謝をしてい











才事 万次 古 5

メンバー

演野公寧 / 髙津沙彩香 / 小尾琴音 / 金子愛実 吉村美咲 / 寺本結衣 / 渡邊涼菜 / 桒原香音 佐瀬比奈紀 / 田幡茉白 / 渡部奈々



プレッシャー半分という心持でした。というのも、メインは各プログラムですが、アートキャンプというイベント全 署です。具体的にはプログラムの配置調整、備品管理、入場システムの準備等を行っていました。 ので、何とかその思いに応えたいという気持ちで準備を進めてきました。 頭を悩ませていましたが、それと同時に各々がプログラムをより良いものにすべく奮闘していることも伝わってきた さらには大学の工事など様々な事情により配置も変更に変更を重ねておりました。プログラムから要望があるたびに 体の印象は我々の会場づくりによっても大きく左右されるので…。 特にプログラムの配置調整は一筋縄ではいかない作業でした。各プログラムの企画内容の変更や追加プログラム、 今年度は一般公開と会場範囲拡大という史上初の試みに加え、プログラム数も過去最多ということで、期待感半分、 また、一般公開については準備していた参加者用ネームプレートが足りなくなるほど多くの方々にご来場いただき、 構成部はアートキャンプ全体をコーディネートし、2日間イベントが滞りなく開催できるよう様々な準備を行う部

準備期間中、ご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

一同嬉しい悲鳴を上げておりました!前例がない分探り探りの状態で準備を進めてきましたが、どうにか大き

なトラブルもなく2日間をおえることができ良かったです。



メンバー 根本朋果(リーダー)/請川彩愛/川口真依 高橋歩花/豊田真夕

ロジェクトやメンバー募集、ステージの管理等をしま 活動の管理をしていました。他にも、全体説明会、プ のサポートとして、主に公式 LINE での対応や書類・ アートキャンプに参加するプロジェクトやサークル

メンバ-

だけでなく、サークル、他学科、森のサロンと様々な

ム数の過去最多記録を更新できました!造形表現学科 ムのメンバー募集のサポートをし、最終的にプログラ プログラムを募集することから始まり、各プログラ

ることができてとても楽しかったです。マネジメント 方に参加していただき、仕事を通して多くの方と関わ

心からありがとーー

連携を密に運営しました。ご協力いただいた皆様 かったため考えることが多く、各プロジェクトとの

できて心から嬉しく思っております。皆さんお疲れ様 部一同、全てのプログラムが無事にやり遂げることが

但し材料費として徴収しました

だきアートキャンプを開催することができました。 が多く、担当の教授や助教の方々のお力添えをいた

会計では生徒の確認だけでは許可が出せないこと

プロジェクト数が例年よりも多く、また規模も大き

/ 髙橋つぐみ / 吉岡妃那乃

まとめます。 AC 開催後は最終的な予算使用額を確認し報告書に をまとめ節約をモットーに予算管理を行いました。 認し許可を出します。事前に予算使用上の注意点 会計では各プロジェクトの予算案を担当教員と確

広報部

メンバー

半場詩野(リーダー)/ 甲斐琴水 枝野晴香 / 河野海藍 / 互井那月 / 髙瀬愛奈 須田さくら / 松下陽香 / 山口詩乃

今年はアートキャンプ初の外部公開に向けて、Instagram などの SNS を 4種と HP を展開しました。パンフレットやポスター、DM、ステッカー、この冊子の制作なども担当しております。当日はインスタライブや写真撮影を担当しました。





Linustock.com ...









冊子制作

半場詩野 / 甲斐琴水 / 枝野晴香 / 互井那月 / 髙瀬愛奈 須田さくら / 松下陽香 / 山口詩乃 / 平野菜月 / 請川彩愛 / 金子愛実 / 根本朋果

アートキャンプ2023 #美戸端会議

編集 アートキャンプ 2023 制作スタッフ

発行日 2023年12月18日

発行所 東京家政大学 家政学部 造形表現学科 〒 173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

印刷・製本株式会社美創企画